



地域の皆さまとともに歩む信用金庫

大阪商工信用金庫 金融機関コード1636

ニュースリリース

令和2年9月28日

社会貢献債（ソーシャルボンド）への投資について

大阪商工信用金庫（理事長 多賀 隆一）では、令和2年9月28日（月）にニプロ株式会社が発行した「ニプロ株式会社第1回無担保公募劣後特約付社債（別称：ソーシャル・ハイブリッド・ボンド）」に1億円投資したことをお知らせいたします。

1. ソーシャルボンドとは

調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への投融資に利用されることを前提として発行される債券です。

2. ソーシャル・ハイブリッド・ボンドとは

当社グループは、真にグローバルな総合医療メーカーとして、未来に向かって、世界の人々の健康を支え、医療ニーズに応える商品、技術および事業の創造革新を行い、社会に貢献し、自己実現を図ることを目指し、「医療機器」「医薬品」「ファーマパッケージング」が三位一体となり、事業拡大に取り組みながら、継続的な生産・運営コストの引き下げによる収益力向上に努めています。

本社債による資金調達は、資本と負債の中間的性質を持つハイブリッドファイナンスの一形態です。負債であることから株式の希薄化は発生しない一方、利息の任意繰延、超長期の償還期限、清算手続及び倒産手続における劣後性等、資本に類似した性質及び特徴を有しております。そのため格付機関（株式会社格付投資情報センター及び株式会社日本格付研究所）より、資金調達額の50%に対して資本性の認定を受けています。

当金庫は、地域社会の発展に貢献する理念のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同することを宣言しています。その取組み方針のひとつとして、ファイナンスを通じて社会課題解決の自律的好循環を支える役割を担いたいと考えています。

本ソーシャル・ハイブリッド・ボンドへの投資で、我が国の医療及び新型コロナウイルスに起因する社会課題の改善につながることを期待し、投資いたしました。

今後もこうした取組みを通して、地域金融機関として社会的使命を果たしてまいります。

*本事業の詳しい内容につきましては、下記までお問い合わせください。

以上

お問い合わせ

大阪商工信用金庫 CSR推進室 TEL 06-6267-2865